

【資料４】提案書評価表

No.	項目	提案書に最低限記載すべき事項	評価項目	評価	加重点	得点
1	業務理解	①本調達の背景と目的についての解釈を記載すること。 ②本調達の範囲を図を用いて網羅的に記載すること。 ③本市の課題を解決する方法についての提案を記載すること。 （仕様書 第１章全体概要）	(1)本調達における本市の背景や目的を的確に理解しており、提案にあたっての基本的な考え方が本市と一致しているか。	5	2	10
			(2)本業務において、業務内容と仕様書に記載された要件を正しく捉えた提案となっているか。			
			(3)実施範囲が網羅的に示されているか。			
			(4)国（文部科学省）が示す教育の情報化の方針や本市のネットワーク環境および各システムの運用状況を正しく把握したうえで、今後の方向性を踏まえて本市にとって有益な提案となっているか。			
			(5)本市の課題である、クラウドの活用と、校外学習・家庭学習でのオフライン利用について有益な提案となっているか。			
2	プロジェクト体制	①実行性のあるプロジェクトとするために、分野ごとにカテゴライズし、カテゴリごとに構築・導入体制を記載すること。 ②また、その体制には、実行力のあるリーダーとメンバーを配置し、その業務実績を記載すること。 ③運用保守フェーズにおいて、構築・導入フェーズから円滑に移行するために、構築・導入メンバーの参画やノウハウ引継ぎについての方針と方法を記載すること。 ④5000名以上が利用する端末整備又は、セキュリティ強化の構築を受注した実績を記載すること。（自治体名、契約期間、役割、調達概要、調達規模を明記すること） （仕様書 第２章14 プロジェクト管理）	(1)本業務に関わるメンバーは、本業務の遂行に必要な経験を有し、適切な業務実施が可能であるか。	5	4	20
			(2)本業務に関わるメンバーは、本業務の遂行に必要な専門知識を有し、適切な業務実施が可能であるか。			
			(3)構築・導入時に、既存他システム等の動作に悪影響を及ぼさないよう事前に十分な調査・調整を行うよう具体的に計画されているか。			
			(4)保守工程期間や体制変更があった場合にも、構築時の協議事項、決定事項などが適切に理解され、認識不足によるミスや調査の遅延等が発生しないための提案が行われているか。			
3	スケジュール	①分野ごとにカテゴライズし、カテゴリごとに実施スケジュールを記載すること。 ②66,000台の学習者用端末調達に係るスケジュールについて、キッティング、展開、既存充電保管庫への配備等、詳細工程を踏まえて、具体的に記載すること。 ③中学校の高校入試期間を考慮した、端末入替と新端末利用開始のスケジュールを具体的に記載すること。 ④無線APと画面転送装置について、既存機器との入替等、詳細工程を踏まえて、具体的に記載すること。 （仕様書 第２章2業務要件 (3)導入スケジュール）	(1)構築スケジュールが実現性の高いものとなっているか。	5	6	30
			(2)現場に極力負担のかからないよう体制や方法に工夫がなされているか。特に高校入試期間の考慮がなされているか。			
			(3)導入時、学校での初期設定の負担が少ないように工夫がなされているか。			
4	情報セキュリティ	①本市の情報セキュリティポリシー及び教育情報セキュリティポリシーに関するガイドラインに基づき、物理的、技術的、人的対策を実施することになるが、提案者の基本的な考え方、従事者の教育方法など、基本的な方針を記載すること。 ②学習者用端末は学校園での利用に加え、自宅や公共施設での利用も想定し、フィルタリング等セキュリティ対策について記載すること。 ③情報セキュリティに関する国際規格であるISO/IEC 27001,27017 の認証を受けている場合はその旨を記載すること （仕様書 第２章 4情報セキュリティ要件）	(1)セキュリティインシデントを防止するための具体的な手法及び従事者に対する教育方法を記載し、それが有効に働く提案であるか。また、万が一のセキュリティインシデントの発生に備え、被害規模や範囲を最小限に抑制する具体的かつ有益な提案であるか。	5	6	30
			(2)児童生徒による不正利用やセキュリティ事故を防ぐ有益な提案であるか。			
			(3)校内でも自宅や公共施設でも安心・安全に端末を利用できるように、十分にセキュリティ対策を考えたうえ、技術的側面、運用的側面、保守的側面の３つの側面から具体的に実現可能な方法を提案しているか。			
			(4)児童生徒の学校・自宅での利用を考慮し、有害サイトをフィルタリングするしくみや、検索エンジンの検索結果から有害情報を取り除くしくみがあるか。また、動画閲覧アプリケーションなどを利用する際に性・暴力内容を含む不適切な情報や、広告を閲覧できないようにする仕組みを有しているか。加えて、学習に必要な情報についてはフィルタリングがかからないしくみがあるか。			
5	学習者用端末	①「ハードウェア」「周辺機器」「ソフトウェア」の説明とその選定理由を記載すること。 ②現在本市で取り組んでいる「学びのコンパス」について、学習者用端末の再整備により、どのように変化するかについて具体的に記載すること。 （仕様書 第２章3機能要件 (1)デバイス提供サービス）	(1)児童生徒が多少粗雑な使い方をしても破損・故障しづらい工夫がなされているか。また、周辺機器が破損、故障した場合の対応が提案されているか。	5	8	40
			(2)端末自体に児童生徒個人のデータを残さなくするための仕組みが提案できているか。一方で、児童生徒が作成したデータを個々に保存し、次回の学習時に利用できる仕組みをあわせて提案できているか。			
			(3)組み合わせる授業支援システムや各種学習者用コンテンツを活かして学びを充実させる具体的な提案ができているか。			
			(4)学習者用端末の整備により、「学びのコンパス」において、どのような学習の変化及び効果が期待されるのかについて、具体的に記述されているか。			

6	教室内ネットワーク	①「無線AP」「画面転送装置」の説明とその選定理由を記載すること。 ②各学校園への無線APの設計方針及び入替方針についてネットワークの安定稼働を考慮して、具体的に記載すること。 ③画面転送装置について、構成と利用方法がどのように変化するかについて具体的に記載すること。 （仕様書 第2章3 機能要件 (6)対象業務の概要 ア デバイス提供サービス）	(1)無線LAN導入（追加・変更）後も、既存の校務系にはトラフィックや電波干渉などの影響がないように十分に考慮された提案内容となっているか。	5	8	40
			(2)画面転送装置について、教員が使いやすいものになっているか。			
			(3)画面転送装置（校内放送・掲示板システム含む）について、本市と同等の校内ネットワークにおいて、検証または稼働実績があるか。			
			(4)画面転送装置について、児童生徒の機微な情報が児童生徒に見えるようなことがないように、制御できる仕組みを実装することが可能であるか。			
			(5)無線アクセスポイントの管理を行う装置（コントローラー、管理サーバ等）が本市のネットワーク構成において最適なものになっているか。			
			(6)無線LANに接続できない障害が発生した場合、速やかに切り分け作業を行い、復旧できる体制・方法がとられているか。			
			(7)年度がかわり、無線アクセスポイントの配置換えがあった場合、最適に再配置されるよう考慮がされているか。			
7	アプリケーションサービス	①「学習eポータル」の説明とその選定理由を記載すること。 ②「学習ダッシュボード」の説明とその選定理由を記載すること。 ③「授業支援システム」の説明とその選定理由を記載すること。 ④「デジタルドリル」の説明とその選定理由を記載すること。 ⑤「プログラミング教材」の説明とその選定理由を記載すること。 （仕様書 第2章 3機能要件(6)対象業務の概要 イ アプリケーションサービス）	(1)学習eポータルにおいて日本の初等教育(学校教育)に適した共通で必要な学習管理機能を備えたシステムとして十分に考慮された提案内容となっている。	5	8	40
			(2)学習ダッシュボードにおいて「個別最適な学び」の実現に向けて、教職員が児童生徒の学習状況を容易に把握できるよう、学習状況の見える化を実現した提案内容となっている。			
			(3)授業支援システムにおいてICTで児童生徒の学びを支援し、教職員の授業運営をサポートするシステムとして十分に考慮された提案内容となっている。			
			(4)デジタルドリルにおいて「個別最適な学び」の実現に向けて、一人ひとりの学習をサポートするシステムとして十分に考慮され、かつ活用を促進させるための方策も加えた提案内容となっている。			
			(5)「プログラミング教材」物事を順序立てて論理的に考える力(プログラミング的思考)やプログラミングに関する技術および知識を学ぶためのシステムとして十分に考慮された提案内容となっている。			
8	回線・基盤	①文部科学省の教育クラウド活用方針を理解した上で、今後、想定される教育クラウドコンテンツ導入に向けた準備として、本調達において提案及び実装できることを具体的に記述すること。 ②文部科学省「学校のネットワーク改善に向けた取り組みについて」を理解した上で、66000台のパソコンが接続されることを考慮し、ネットワーク回線及び関連するクラウド基盤の選定理由を具体的に記載すること。 ③想定トラフィックと処理性能については定量的に記載すること。 （仕様書 第2章 3機能要件(3)ネットワーク基盤サービス）	(1)クラウド化の方針及び、最新技術や動向を理解した上で、今後想定される事業に向けた有益な提案がされているか。	5	8	40
			(2)データセンターには、各学校の多数の端末からの通信が集約され、ボトルネックとなる可能性があるため、ネットワークのサイジングに関して、提案するアプリケーションが必要とする通信帯域ならびセッション数が明示され、その数値に応じて計算されたネットワーク全体の性能を記載の上、適切なネットワーク回線が選定され構成されているか。 また、データセンタ環境の安全性が確保されており、教育クラウドプラットフォームが停止しないような安全対策がとられているか。			
			(3)主要な機器及び通信経路について、冗長化構成が取れていることがシステム構成図および機器の数量で明確に記載されているか。			
			(4)Office365等へのクラウドへの通信負荷とその他の通信負荷を分散する考え方が定量的に提案されているか。			
			(5)インターネット回線について、高速かつ高品質・信頼性のある回線となっているか。			

9	運用保守	①ヘルプデスクのサポート内容について具体的に記載すること。 ②障害発生時等にも円滑に保守対応を実施するために、監視通知手法等、技術面、運用面を踏まえて記載すること。 ③アカウントの管理方法、アプリケーションの追加・削除等、セキュリティ更新、アップデート等、パソコンを長期に運用管理するための具体的な手法や体制について具体的に記載すること。 ④年次更新の方法について記載すること。 ⑤端末管理の方法について記載すること。 ⑥予備機管理の方法について記載すること。 ⑦破損があった際の対応方法について記載すること。 ⑧転出入があった際の対応方法について記載すること。 ⑨学校の生徒数に増減が生じた際の年始の対応方法について記載すること。 (仕様書 第2章 3機能要件 12運用要件 13保守要件)	(1)本市及び教職員の運用負担が軽減できるサポート内容となっており、本市にとって有益な提案となっている。	5	10	50
			(2)障害発生時に、学校での復旧も含めて、迅速かつ確実に復旧できる内容となっているか。			
			(3)年次更新において、本市及び教職員の負担が少ない内容となっているか。			
			(4)端末の所在を常時把握できる仕組み及び運用方法となっているか。			
			(5)予備機の管理について、本市及び教職員の負担が少ない内容となっているか。			
			(6)破損の対応において、授業を止めることなく、かつ、本市及び教職員の負担が少ない内容となっているか。			
			(7)転出入に係る端末の管理・運用が、本市及び教職員の負担が少ない内容となっているか。			
10	研修	①教育センター職員への運用定着化を図ることを目的とした、研修内容、研修方法について具体的に記載すること。 ②教職員向けに、現在本市で取り組んでいる「学びのコンパス」での、新たな授業方法、コンテンツの利用方法等の研修内容、研修方法について具体的に記載すること。	(1)実施スケジュールが現実的なものとなっているか。	5	4	20
			(2)本市と提案者の役割分担が明確でかつ本市負担が最小限となっているか。			
			(3)現在本市で取り組んでいる「学びのコンパス」を基にした授業提案となる研修となっているか。			
			(4)5年間を通じた研修内容、方法が妥当か。			
11	追加提案	本市の課題に対して、提案事項を記載すること。提案事項は、提案に留めるものか、実装するものかを明記すること。なお、①については、提案を必須とする。 ①教育データ利活用し、教職員の働き方改革や児童生徒の学習支援に資するAI技術の活用 ②掲示板システムの活用 ③令和9年度に予定しているアクセス認証モデルを前提としたネットワークへの移行 ④その他課題	本市の課題や国の動向や他自治体の導入事例などを踏まえ、それぞれ有益な提案となっているか。	5	6	30